

事務事業名	櫛形図書館子どもの読書活動推進事業	□ 実施計画事業	所属部局	教育委員会	単位番号	12445					
			所属課室	市立図書館	課長名	深澤知恵美					
基本政策	V 個性と文化を育む都市づくり	□ 実施計画事業	所属担当	櫛形図書館	担当者名	望月 幸子					
					会計	名称	款	項	目	細目	細目
政策	22 生涯学習ネットワークの整備充実	事業区分	予算科目	01 一般	1 0 0 4 0 4 0 5 0 0 8	□ 国の制度による義務的事業	□ 施設等維持管理事業				
				22 おはなし会	1 0 0 4 0 4 0 5 0 0 8	□ 県の制度による義務的事業	□ 補助金交付事業				
施策	35 生涯学習システムの推進			23 その他	1 0 0 4 0 4 0 5 0 0 8	□ 市の制度による義務的事業	□ その他の事業				
				24 義務化されている協議会等の負担金	1 0 0 4 0 4 0 5 0 0 8	□ 義務化されている協議会等の負担金					
事業期間	□ 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度) □ 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )	法令根拠	図書館法 南アルプス市立図書館条例 子どもの読書活動の推進に関する法律								
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載	事業費の主な内訳 ( 22年度 )	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)					
事務事業の概要	子どもの発達段階に応じた読書支援を行う。 ・おはなし会(週1回)・おはなし会0.1.2.(月1回)の開催 ・そよかぜ子どもまつり、読書フェスタ、クリスマス会の開催 ・子ども映画会、工作教室の開催 ・図書館見学、職場体験の実施	報償金	210	その他保険料	3						
		講師謝金	150								
		費用弁償	15								
		消耗品費	79								
		食料費	41計								
											461

## 1 現状把握(DO)

## (1) 事務事業の目的と指標

① 活動	22年度活動実績	・おはなし会の開催 ・各種行事の開催 ・図書館見学、職場体験の実施
	23年度活動予定	・おはなし会の開催 ・各種行事の開催 ・図書館見学、職場体験の実施
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		子どもとその保護者
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)		本の楽しさを知り、本や図書館に親しむようになる
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		児童の貸出冊数が増える

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:おはなし会の開催回数	回数	
イ:各種行事の開催回数	回数	
ウ:図書館見学・職場体験の実施件数	回数	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:おはなし会の参加人数	人数	
イ:各種行事の参加人数	人数	
ウ:図書館見学・職場体験の参加人数	人数	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:18歳以下の貸出資料数	点数	
イ:18歳以下の利用者数	人數	
ウ:		
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:児童書の貸出冊数	冊数	
イ:		

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	295	462	508	512	512	512	
	事業費計 (A)	千円	295	462	508	512	512	512	0
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	165	210	250	250	250	250	
	人件費計 (B)	千円	736	937	991	991	991	991	0
	(A)+(B)	千円	1,031	1,399	1,499	1,503	1,503	1,503	0
活動指標		ア:回数	63.0	62.0	62.0	62.0	62.0	62.0	
		イ:回数	12.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	
		ウ:回数	12.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	
対象指標		ア:人数	946.0	970.0	999.0	1,029.0	1,059.0	1,091.0	
		イ:人数	446.0	411.0	431.0	444.0	466.0	490.0	
		ウ:人数	286.0	304.0	313.0	322.0	332.0	342.0	
成果指標		ア:点数	38,505.0	34,567.0	35,258.0	35,963.0	36,682.0	37,416.0	
		イ:人數	2,909.0	1,599.0	1,630.0	1,663.0	1,696.0	1,730.0	
上位成果指標		ア:冊数	68,880.0	65,399.0	66,706.0	68,041.0	69,401.0	70,789.0	
		イ:							

## (3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	昭和59年の開館当初から行ってきたが、平成11年からおはなし会を定期的に開催した。「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定された平成13年からは、さらに事業を拡大し行っている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	子どもを対象にした行事に、市内全域から多くの親子が参加している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	行事の参加者から、参加してよかったですという感想が寄せられている。また行事に参加したいという人が多くいる。

## (4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	「取り組みしている」⇒【内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 「取り組みしていない」⇒【理由】 <input type="checkbox"/>
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	おはなし会、児童と保護者を対象にしたおはなし会0.1.2.、そよかぜ子どもまつり、なんでも実験、エコ工作、工作教室等を実施し子どもに本の楽しさを伝えている。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	子どもの読書活動に関するアンケート調査を実施する。

事務事業名	柳形図書館子どもの読書活動推進事業	所属部	教育委員会	所属課	市立図書館
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 子どもの人間形成にとって読書習慣を身に付けることは大切なことであり、読書活動に働きかけることは生涯学習につながる
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 「南アルプス市子どもの読書活動推進計画」が策定されており、また、市の施策にも結びついている。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 読書習慣を身に付け、生涯を通して読書や学習活動を行う上で適当である。これからも子どもの読書活動を家庭、地域と連携して行う必要がある。
有効性評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 18歳以下の貸出資料数は減少しているが、しかし利用者は前年度に比べ多くなっている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓)  <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】  <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 子どもたちの読書離れがますます進む。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 年間を通して行っているおはなし会に関わっている図書館ボランティア団体10団体の報償金が主な予算のため削減はできない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 通常の図書館業務を行なながら全職員で子ども向け行事を行っているので人件費の削減はできない
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市の広報に掲載し、だれでもが参加できるように伝えているが、もっと多くの子どもたちが参加し図書館に親しんでもらえるようPRしていく。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	子どもたちが参加したいと思うような行事の企画と図書館行事の対象者へのPR活動が必要である。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																						
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)																						
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)																						
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)																						
(2) 改革改善案について	コスツ水準																						
①多くの子どもと保護者が参加できるように工夫したPRが必要である。 ② ③	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">向上</td> <td colspan="3">コスツ水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">維持</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>下</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>	向上	コスツ水準			削減	維持	増加	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下				下			
向上	コスツ水準																						
	削減	維持	増加																				
維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																				
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																				
低下																							
下																							
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果																						
①各行事のポスターを学校、保育所等に依頼し、家庭へのチラシ配布をお願いする。学校、保育所、図書館ボランティアと連携しさらに子どもの読書の推進を図っていく。	成果優先度評価結果																						
② ③	コスト削減優先度評価結果																						